

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
74	B-07013385	女性	8歳	99mg	アセトアミノフェン 酒石酸アリメマジン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	朝より38.0℃の発熱あり、検査にてインフルエンザA型と判定し、リン酸オセルタミビル等処方。服用2日目、昼、寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走り出して暴れた。5分後位でおさまり本人はまた寝ていた。事象発現から30分後に異常行動は回復。その後、そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。約2週間後、昼、発熱。夜中には39.5℃まで上昇。突然わけのわからない事を大声で叫び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わせて混乱した様子だった。翌日、受診し、インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤服用いかににかかわらず、同様の症状出現。
75	B-07013400	男性	8歳	90 mg	クラリスロマイシン メキタジン カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、夜、38.4℃の発熱があり、入眠。服用4時間後、深夜、ぶつぶつとつぶやきながら歩き回っていた。引き戸のロックを外してベランダを出ようとしていたので、母が声をかけると止まった。次第に落ち着いて2時間後には入眠。異常行動回復。服用4日目、朝、起床時は異常なし。
76	B-02002847	男性	9歳	75mg	アスピリン フルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメモルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。
77	B-03005859	男性	9歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ フェジソ酸クロベラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。
78	B-05000151	男性	9歳	不明	セフテラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。
79	B-05021185	女性	9歳	84mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄状態)	回復	発熱(40℃)インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現(部屋の中を走り回る。)(本人は覚えていない。)譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40℃発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
80	B-05024835	男性	9歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄(突然起きあがる。走り出しそうな感じがあり、押さえつける、会話不成立、手足をばたばたさせるなど)を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復した。
81	B-05024837	男性	9歳	99mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等(玄関から外出するなど)が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。
82	B-05025584	女性	9歳	54mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。昼前1回目服用約4時間後に異常行動(部屋の中を急にウロウロ歩き回る)発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌+を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。
83	B-06025100	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	発熱(39℃)、頭痛があり、インフルエンザ陽性のため、本剤投与。1回目内服後、起きあがろうとしたり、意味不明な話をしてくる。その後、本剤処方せず、リレンザ服用。現在は回復し、通学。
84	B-07000097	男性	9歳	75 mg	カルボシステイン	幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。
85	B-07000198	男性	9歳	60 mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。
86	B-07000262	女性	9歳	42.6mg	クラリスロマイシン フマル酸ケトチフェン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
87	B-07012129	男性	9歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸	異常行動 幻視	回復 回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。 服用2日目、朝、突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、この時の記憶あり。事象発現から4時間後、家族が買い物から戻ると、庭の隅でかかっている。上記と同様の幻視で隠れていたとのこと。1回目事象発現から6時間後、緊急入院(本剤服用中止)。その後、幻視、異常行動はなし。
88	B-07013252	男性	9歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がとめたので事なきを得た。患者に「どうしたの?」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。 服用開始2日目、異常行動は回復。本剤は服用4日目まで投与継続。この間、異常行動は認められなかった。
89	B-07013257	女性	9歳	42.45mg	塩酸アンブロキシロール カルボシステイン アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。服用後、寝ていたが30分ほどして起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いたが、再びパジャマをビリビリに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後回復。
90	B-07013259	女性	9歳	93 mg	ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン ラクトミン 鎮咳配合剤(1) 塩酸ツロブテロール カルボシステイン アセトアミノフェン	激越	回復	インフルエンザA型の診断で、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤2回目服用後、横になってテレビを見ていたが、服用約1時間後、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。その後も本剤服用を継続するも問題なし。
91	B-07013313	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン ノルフロキサシン	異常行動	回復	倦怠感、38.6℃の発熱。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。就寝1時間後、突然に暑い暑いと騒いで窓を開けて雪の降る外に飛び出した。母親が帰るように言っても、なかなか帰って来ず外でぼーっとしていた。母親は「寒いから窓を閉めるよ」と言ったら、とぼとぼ帰ってきた。しばらくして就寝した。 服用2日目、朝、前夜の記憶なし。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
92	B-07013329	女性	9歳	90 mg	レバミピド ドンペリドン	異常行動	回復	キットを実施したが陰性、臨床診断(39°Cの発熱)で、インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。 朝夜、本剤服用し、就寝後、急に目を開いて立ち上がる。「ここにはいられない、外に行かなきゃ」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。事象発現1~2時間後、また起き上がり「学校に行かなきゃ」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。更に1時間後、再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。体温は38.5°C。翌朝、母親の判断で本剤中止。異常行動回復。
93	B-07013330	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。深夜、突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の柵を乗り越えて外に走り出した。 その後、異常行動は回復。本人は全く覚えていない。
94	B-07013375	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン チアミン・ニコチン酸アミド配合剤	記憶障害 異常行動	回復 回復	インフルエンザA型診断、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤1回目服用数時間後、自宅庭を徘徊しているのを家族が見つかる。夜間、奇声を発する。本剤は1回のみ服用し、その後は中止。服用2日目、回復。前日夕方よりの行動について記憶がなかったとのこと。
95	B-07013396	女性	9歳	108 mg	メクロプラミド クラリスロマイシン ペミロラストカリウム カルボシステイン 開始液(1) リン酸ジメモルファン メクロプラミド アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用約2時間後、目つきが変わって、しきりに外に出ようとしたり、何か訳のわからないことを言ったりした。多量の発汗があった。服用2日目、異常行動回復。服用5日目、残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。
96	B-04008522	男性	10歳	75mg	ジプロフィリン・メキシフェナ ミン配合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識変容状態	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは認められたとの由。
97	B-05023468	男性	10歳	105mg		異常行動	軽快	発熱(38.7°C)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。 入院後は異常言動出現なし。 翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
98	B-05024270	女性	10歳	114mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメト ルファン 塩酸アンブロキソール クラリスロマイシン	情動障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。初回投与開始から2~3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。 アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1~2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロメトルファン及び塩酸アンブロキソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。
99	B-05024606	男性	10歳	108 mg	ヒベンズ酸デペピジン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。
100	B-06010806	男性	10歳	114mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られなかった。
101	B-07000166	女性	10歳	75 mg	リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝本剤服用2時間後、体が熱い症状訴え、目を放した隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていたのに家族が気づき制止。本人は覚えていないとの事。その後、寝かしつけた。服用から4時間後、睡眠より覚醒。意識清明。本剤中止。同日、異常行動回復。
102	B-07002856	男性	10歳	不明		異常行動	不明	リン酸オセルタミビル服用2時間後、寝ていたが、笑って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなかったし、走りたくなった」と本人が説明。
103	B-07012021	男性	10歳	100 mg		譫妄 意識変容状態	回復 回復	リン酸オセルタミビルを昼、夕に服用。夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。両親の顔が分からなかった。翌日、意識清明となった。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
104	B-07012054	男性	10歳	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン メキタジン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、保護者が不在であったが、最後に見たときは睡眠中。ボーっと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思ってマンション7階のベランダから下をのぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、保護。その1時間後、来院。来院時、体温 38.4℃、意識清明。夜、睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「星が見たい。弟が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきた。
105	B-07013136	男性	10歳	114 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。昼・夜に服用。翌早朝、普段している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、セコムが反応したため外に飛び出すことはなかった。
106	B-07013247	男性	10歳	75 mg	プレドニゾン 塩酸エブラジノン セラペプターゼ 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	異常行動	回復	入院にてリン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、朝、服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け込み失禁した(この時点では解熱していた)。本剤中止。その後は正常となり退院。
107	B-07013255	男性	10歳	120 mg	桂麻各半湯 ドンペリドン 黄耆連中湯	異常行動	回復	高熱のため受診。インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕、本剤服用後、一度睡眠に入るが、突然立ち上がり家の中を飛び跳ねる。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、家人二人で外に出るのを止める。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きを取り戻し、再び睡眠。服用2日目、熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。
108	B-07013386	女性	10歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザで来院、リン酸オセルタミビルを処方され、帰宅し服用。夕方、突然靴下を履き暴れて外に飛び出した。母親が押え付け、何事にもならなかった。同日、異常行動は回復。
109	B-05023595	男性	11歳	60mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭発赤にて、確定診断後本剤、カロナール、ナウゼリン処方。 本剤投与後、幻覚症状(怖がって逃げる)、異常行動(異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く)発現。 1時間後、改善

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
110	B-05024102	男性	11歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトル ファン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2℃)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方に服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。
111	B-06024935	男性	11歳	72mg		異常行動	回復	妹に処方されたリン酸オセルタミビルを服用。同日夜、突然の発熱(40℃台)あり。本剤服用約10時間後の翌朝、突然起きて異常行動(徘徊、大声で叫ぶ)発現。訳の分からないことを叫び走り出したので、押さえ込む。しばらくした後、意識が戻る。 インフルエンザA型と診断された。
112	B-06025190	男性	11歳	75 mg		異常行動 幻聴	回復 回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。 翌日の午後、異常行動、幻聴発言し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った)。 夜、服用中止。家族がつきそう。 2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。 幻覚、異常行動、幻聴回復
113	B-06026130	男性	11歳	50 mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。
114	B-06026540	男性	11歳	150mg	メキタジン 塩酸エブラジノン カルボシステイン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。
115	B-07000058	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラ ミン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ラクトミン	異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
116	B-07000111	男性	11歳	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温：38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュユが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。 服用開始3日目、インフルエンザ軽快。 服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。
117	B-07000121	女性	11歳	150 mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン 臭化水素酸デキストロメトル ファン	異常行動	回復	早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。
118	B-07000131	女性	11歳	65 mg	カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメトル ファン アセトアミノフェン クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘパタジン 臭化水素酸フェノテロール 乳酸カルシウム ビフィズス菌製剤(4)	異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中でガードレールを越えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。
119	B-07000163	男性	11歳	100 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン	譫妄	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。
120	B-07000260	女性	11歳	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた(過去には夜に一人で外をふらつく)。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり顔に裂傷を負う。

リン酸オセルタミビル

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
121	B-07000274	男性	11歳	100 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	39°Cの発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルファン、塩酸アンブロキシールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。
122	B-07003018	男性	11歳	52.5mg	トラネキサム酸 塩酸ソロブテロール フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断された。夕方、リン酸オセルタミビル服用。本剤服用1時間後、突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「テスト」と言って階段を登って、2階に上がろうとした。制止して様子を見ると、ニヤリと笑った。その後も家の中をふらふらとした。服用は1回で中止し、再び入眠。翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。
123	B-07003581	男性	11歳	64.005mg	モンテルカストナトリウム 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール リン酸ジメモルファン フマル酸クレマスチン プロピオン酸ベクロメタゾン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1~2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くと言い出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。
124	B-07003786	男性	11歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシール リン酸ジメモルファン アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。2階で臥床していたが、大声を出し、階段をかけ下りてきた。その後、服用を続けていたが異常なし。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
125	B-07011102	男性	11歳	不明		異常行動	不明	39°Cの熱が続き、キットでは陰性だったが、医師の経験上の判断でインフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル処方。 服用2日目、朝、本剤服用後、2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを家族に制止された。その時顔は赤らんでいて、何も覚えてないとのこと。
126	B-07013215	女性	11歳	144mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸トリプロリジン 桜皮エキス セネガ アセトアミノフェン	譫妄	軽快	体温は37.8°C。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、就寝1時間後(本剤服用7時間後)、突然起き階段を「怖い怖い」と言いながら走っておりてきた。15分~20分振っていた。服用2日目、朝、せん妄軽快。その後、服用3日目まで、本剤服用。
127	B-07013227	男性	11歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) メキタジン カルボシステイン	激越 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。1回目服用後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約8時間後に2回目服用。その後就寝。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられる。2、3分にて本人が気づき状況確認すると、とても怖い夢をみたとのことだった。
128	B-07013315	男性	11歳	80 mg	カルボシステイン フマル酸ケトチフェン 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用約1時間後、急に走り出して外へ出て行こうとした。 母親が制止したが、暫くボーとしていた。その後、異常行動回復。
129	B-07013316	男性	11歳	67.5mg		異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。服用2日目、午後、昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。 母親が制止し、声をかけたところ、我に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。事象発現30分後、異常行動回復。以後は症状みられず。
130	B-07013379	男性	11歳	67.5mg	ヒベンズ酸チベピジン フマル酸クレマスチン 塩酸セフカペンピボキシル	恐怖 うつ病 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態発現。服用2時間30分後、就寝後、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。その後、就寝。服用5時間30分後、再び就寝中に数分~5分内の恐怖の発現が有り。服用7時間30分後、就寝中に再び数分の興奮有り。数分~5分で改善。服用2日目、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなくめざめる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
131	B-07013383	男性	11歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、急に家を飛び出し、家の周囲を1周し、帰って来て笑っていた。その後、異常行動は回復、本剤中止を指示して再発なし。
132	B-07013387	女性	11歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤中止。服用3日目、異常行動軽快。
133	B02-12377	男性	12歳	150mg		低体温	回復	インフルエンザ確定診断後、本剤投与。 本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親がおさえた。体温:34~35℃。 同日、再度服用したところ、幻視、低体温、暴れるなどの症状出現し、再び両親におさえられて治まった。その後、本剤は中止とした。 翌日、低体温は継続。 投与中止3日後、幻視、低体温回復
134	B-03011945	男性	12歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	診断キット(-)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39℃の熱と、意味不明の発言、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発言が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。
135	B-04009035	男性	12歳	150mg	セフジトレンピボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフジトレンピボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。
136	B-05023672	男性	12歳	60mg	臭化水素酸デキストロメトル ファン メキタジン ラクトミン	異常行動	回復	発熱(39℃)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。 その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車まで走り出す。奇声を上げる)。 15分後帰宅するが、意識がぼーっとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
137	B-05023790	男性	12歳	66 mg		異常行動 意識変容状態 橈骨骨折 下肢骨折	回復 回復 不明 不明	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日目も夜間にもうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。
138	B-05024838	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言葉を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。
139	B-05025582	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39℃以上)。翌朝解熱(36.7℃)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。
140	B-06007798	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡 損傷	死亡 死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。 【解剖所見あり】
141	B-06012472	女性	12歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識変容状態	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。
142	B-06024212	男性	12歳	75 mg		意識変容状態	回復	発熱(40.5℃)、咳、鼻症状、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用当日、意識障害(名前、自分の年が言えず)発現。投与翌日、意識障害回復。
143	B-06024534	男性	12歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。本剤服用開始当日夜から翌日朝にかけて、異常行動(突然裸になり踊るなど)あり。発熱持続。2日目午前に服用後、夕方、母親が目を離れた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
144	B-06024909	男性	12歳	150 mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキシロール	異常行動	回復	発熱(37.8℃)、咳、倦怠感あり、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。投与翌日、外を走っているところを見つけれ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり窓を開けて飛び降りた。
145	B-06025101	男性	12歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。昼間は問題なし。その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。
146	B-06025576	女性	12歳	150mg		異常行動	回復	本剤処方時の昼食時に服用。その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5℃)翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。
147	B-06026630	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。
148	B-07001302	女性	12歳	75 mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、2階の階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。
149	B-07001361	女性	12歳	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間1回きり)。家族がおさえつけて制止した。服用開始5日目、服用終了。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
150	B-07001523	男性	12歳	75 mg	塩酸アンプロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノベン アセトアミノフェン	意識変容状態	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。 翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。その翌日午後、意識清明となる。
151	B-07002664	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニラ ミン	錯乱状態 強迫性障害 うつ病	回復 未回復 未回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえつける。症状は約30分間続き、回復。投与中止。 投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。 投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしなくなる。メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7~8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。 投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。 投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅で療養中。
152	B-07011932	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	夜、発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤と解熱剤を処方。翌朝、受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、B型と判明。発熱以外特に訴えなく所見もないようなので、リン酸オセルタミビル等を処方。服用1日目、深夜、寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸足で飛ぶように走った。服用開始から3日目、朝、本人は自分の行動を全く覚えていなかった。平熱に戻り元気が良いとのことで、本剤服用中止を指示。
153	B-07013228	男性	12歳	150mg	麻黄湯	異常行動	回復	前日より39.1℃の発熱あり。インフルエンザA型陽性との診断受け、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤を服用し、就寝。夜、気持ちが悪いとトイレへ行った。トイレから出てきてうわ言で「屋上、屋上が・・・。」と言って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりでおさえつけた。その後本剤中止。
154	B-07013229	男性	12歳	150 mg	フマル酸クレマスチン 臭化水素酸デキストロメトル ファン カルボシステイン トラネキサム酸	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型発症のため、リン酸オセルタミビルを朝、夕2回服用。深夜、急に起き上がって服を脱ぎ、部屋の中を歩き、お茶を飲んだ。 ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。体温は37.9℃。40分くらいで再び眠りについた。その約3時間後、寝ている状態でベッドでバタバタして話をしていて、目はグルグル回って変だった。40分くらい続いた。

リン酸オセルタミビル